

科目名	政治・経済	英語科目名	Politics and Economics	
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	2年 電気電子創造工学科 L・R	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2単位	単位種類	履修単位	
担当教員	岡田一郎	居室（もしくは所属）	非常勤講師控室（管理棟1階）	
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp (連絡担当教員：上野哲先生)	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準	
	1. 新聞・TV等で報じられている内容の背景について理解し、それを他者に正しく説明することができる。	①②	D B	b a
	2. 政治や経済のあり方について自分なりの意見を述べるができる。	②④	B A	a f
3. メディアリテラシーを身につけ、マスコミの報道を鵜呑みにせず、特定の事項について自分で情報を取捨選択することができる。	⑤⑥	B E	D b	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
上記3点について、前期後期それぞれの中間試験と定期試験、確認テスト、授業中の発言や報告によって総合的に評価し、60%以上の成績で達成とする。				
評価方法				
前期後期それぞれの中間試験・定期試験の平均点 80% 授業中の確認テスト・発言および報告 20%				
授業内容		授業内容		
1. 近代民主政治の発展		16. 冷戦後の世界		
2. 現代民主政治の展開		17. 経済思想		
3. 日本国憲法の基本的性格		18. 市場機構とそのはたらき		
4. 日本国憲法と平和主義		19. 金融政策		
5. 自由権		20. 日本経済のあゆみ		
6. 平等権		21. IT革命と知識集約型産業		
7. 社会権		22. 今日の雇用問題と労働条件		
8. 前期中間試験		23. 後期中間試験		
9. 答案返却と説明、新しい人権		24. 答案返却と説明、		
10. 国会と内閣		25. 農業をめぐる問題		
11. 裁判所と裁判員制度		26. 社会保障の成立と進展		
12. 地方自治		27. 国際分業と貿易の利益		
13. 政党政治と選挙制度		28. TPPとその影響		
14. 国際連合と地域連合		29. 外国為替と国際収支のしくみ		
15. 冷戦		30. グローバル化の進展と国際経済		
キーワード	民主主義・人権・平和主義・資本主義・メディアリテラシー			
教科書	中村研一ほか『高等学校 現代政治・経済 最新版』清水書院			
参考書	授業中に適宜紹介する			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	地理			
現学年の関連科目	なし			
次年度以降の関連科目	倫理・社会、歴史、歴史学、哲学、人間と科学 I / II			
連絡事項				
1. 授業では授業内容に関連したビデオを上映する。中間・定期試験ではその感想についても尋ねるので、ビデオは真面目に試聴すること。				
2. 授業の詳細や注意事項については授業第一日目に連絡する。				
シラバス作成年月日	平成28年2月12日作成			